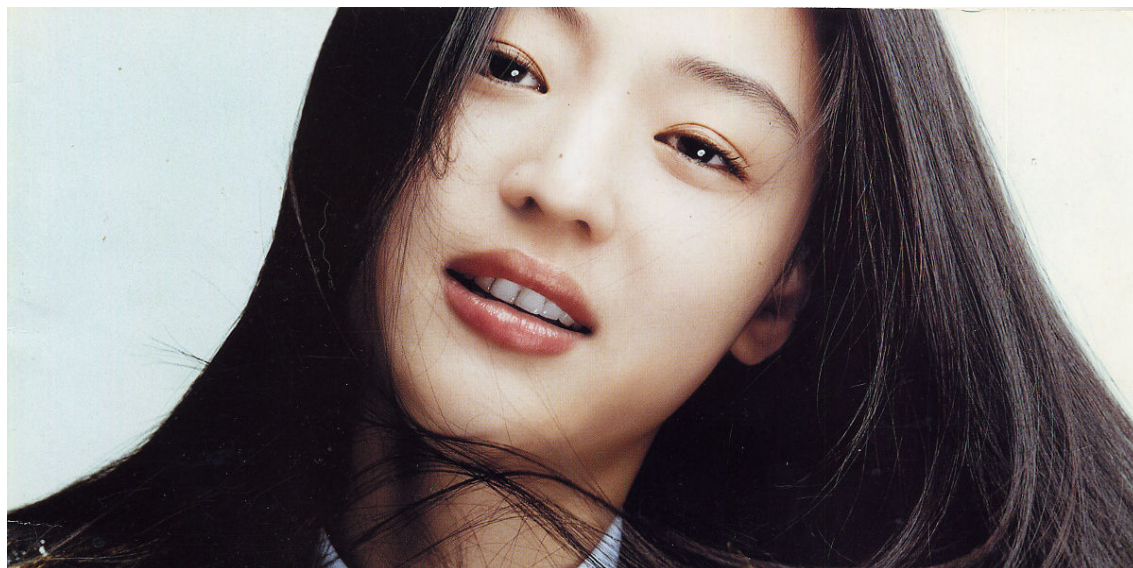


韓国ドラマヲノススメ

うさお &
Cacco

第三回 チョン・ジヒョン

なんたって若くて生きがよくて3mはあるかと思う（誰かさんみたい）すらりと伸びた長〜い手足。かわいい顔して超凶暴。「猟奇的」としか表現できない、そんな彼女に世の優しく頼りない男の子たちは猛烈に惹かれてしまう！**うさお**もどうやらそのひとり。



【猟奇的な彼女】

大学生キョヌ（チャ・テヒョン）は地下鉄の中でデレデレに酔っ払った可愛い女の子（チョン・ジヒョン）を見かける。あの性格じゃなきゃ超好みと思いつつ、ひよんななりゆきからキョヌと彼女は付き合うことに。最愛の彼を失ったばかりで自暴自棄になっている彼女をなんとか立ち直らせようとがんばるキョヌだが、彼女の凶暴性は日に日にエスカレートしていく。「前半戦」、「後半戦」、「延長戦」の三部構成。

Cacco

地下鉄でのゲロシーンはゲロそのもので韓国映画はこういうモロ見せシーンがけっこうある。かわいいかわいいチョン・ジヒョンとゲロなんてすごい組み合わせ。凶暴シーンがけっこう長くてもう少しコンパクトにまとめてあるほうがより好きだと思うけど「延長戦」に入ってからふたりのその後はしっとりせつなく泣かせます。ふたりは出会うべくして出会った最初から決まっていたんだ運命的だったんだ！と感動、感動。



ところでハングル教室のキム先生は大学生役のチャ・テヒョンの大ファン。「あたしはメンクイじゃないのよ～」とのたまっていましたが、最近結婚したお相手はミスチルの桜井さまばりのいい男。話が違うっての。

うさお

Cacco がチョン・ジヒョンは、**グリコ** 隊員と似ているといいます。顔はポニョポニョしてて、スタイル抜群、そこが似ているといいます。すげえ、何か芸能人が身内にいるようだなあ。あの新庄剛志が身内なのと、どっちがいいかなあ。

映画は最初から意表つく出会いから始まるよ。韓国は女性がこんなに強いのか？それとも男尊女卑だからこのストーリーが生きてくるのか？（チャングムも強いよねえ。）

内容は男の子が良いようにアッシー君になっていく様が描かれていますが、そのうちホロリと来る恋愛物になっています。その切り口が目新しくて相当話題になりました。すこし上演時間が長いですが、飽きさせない展開が続きます。結構面白いです。

【僕の彼女を紹介します】

ヨ・ギョンジン（チョン・デヒョン）は正義に燃える熱血婦人警官。あるひったくり事件から彼女は高校教師コ・ミョンウ（チャン・ヒョク）と知り合う。どこに行ってもトラブルが付いて回るギョンジンを必死で守ろうとするミョンウ。そんなある日、凶悪犯を追うギョンジンを救おうとミョンウは銃撃戦に巻き込まれて・・・。



Cacco

婦人警官コスプレがとってもよく似合う！拳銃を持ち敵と立ち向かう彼女をアップで長回しするシーンなんて魅力全開。強くて勇敢な女の子ってとっても魅力的！相変わらず超手足が長いんだな。「僕の彼女」を「誰が」「誰に」「どんな状況で」紹介するんだろうと思っていたら、ラストであっと驚く仕掛けが。つまり、なんだ、「僕カノ」は「猟奇的」の前段階のお話だったの？なんて思わせてくれるおしゃれな作りになっているのです。

うさお

だいたい2作目は1作目より質が落ちるのが通例ですが、これは前作よりは面白いかも知れないなあ。2作目、3作目も面白かったのは、「インディ・ジョーンズ」、「ターミネーター」、「キル・ビル」くらいだけれども、そんなに凝ったシュチュエーションじゃあないんだけど、それでも何かしらセンスを感じるのは監督の才能かなあ。

主人公の性格が前作「猟奇的な彼女」そのまま。可愛い顔に乱暴な言葉。跆拳道(テコンドー)の達人の彼女はすこぶる武闘派である。昔はブルース・リーの截拳道(ジークンドー)と跆拳道を取り違えており、李振藩が創始者だと思っていました。

映画の最後のシーンは、ちょいとした仕掛けがしてありコアなファンは大喜びさ。

【TVドラマ

ハッピーツギザー】

両親の再婚で家族になった5人兄弟が、両親の交通事故によってばらばらになり、紆余曲折を経て成長し再び家族を作り上げていく韓国版「ひとつ屋根の下」。



江口洋介演じた兄ちゃんをイ・ビョンホンが、福山雅治演じた小兄ちゃんをソン・スンホンが演じる超豪華キャストドラマ（そう言われても韓国好きじゃないとわかんないよねえ・・・）。その一番下の妹を演じてるのがチョン・ジヒョンなのです。日本版では酒井のりぴーの小雪になるのか、末っ子の小梅になるのか。

だいたい野島伸二脚本作品は韓国的らしく「101 回目のプロポーズ」は中・韓合作でリメイクされたし（浅野温子の演じたチェリストはチェ・ジウがやったんです！きれーでした）キム先生は野島伸二最新作「愛くるしい」を毎回見ている「ポロかわいい〜」と連呼してたし。

「冬ソナ」以来韓国ドラいろいろ観てきましたが「何が一番？」と聞かれたら「ハッピーツギザー」と答えます。笑いあり涙あり、なんとって兄ちゃんは「寅さん」だから、お調子者で情に厚いんです。「チャングム」とどっち？って聞かれたら・・・どうしよーかな。悩む。おじさんも十分観れると思うけど、残念ながらうさおは観てないですよ” ^_^”

【4人の食卓】



結婚を目前に控えたインテリアデザイナーのジョンウォンは、その日信じられない光景を目にした。幸せな家族団らんを夢見て用意した4人掛けの食卓。だがそこに座っていたのは地下鉄で毒殺されたはずのふたりの少女だった。そして彼の脳裏に現れ始める幼年期の忌まわしい記憶…怖ろしい父の顔、死んだはずの妹の顔…。さらに不思議な能力を持つ謎めいた女性との出会いによって、彼はかつて体験したことのない恐怖幻想世界へ…。

うさお

この映画は、**うさお**だけ見たよ。マンションから窓の外を見ていると真ッ逆さまに女の子が落ちてくるあの映画です。チョン・ジヒョンが出てるので **Cacco** が喜ぶかと思って、DVDを借りてきたら「私は観ないからね！ 恐いのヤッだからね！」って言われた。

一人ぽつねんとしながら TV の前で観ていたよ。夜更けにこんな映画を観ていると背筋にぞくって来るね。監督は韓国の女流監督、イ・スヨンです。なんて言ったら女性の方が怖いもの作るの上手いよ。

「…出来ちゃったわ…。あなたの子よ。一度、あなたの奥様とお会いしたいわ。」

う～ん、恐いなあ。人の死が見える…そんな能力、「シックスセンス」をもっと恐くしたものです。チョン・ジヒョンなんで結構、強い性格かなって思ってたんですが、さすが女優、違う性格を演じ分けていました。この映画はホラーというよりは、たぶんに観念的な映画です。

Cacco

ホラー観ちゃうと、ひとりの夜が恐いからね～。ほんとは、「箆笥」とか観たいんだけどね。でも「シックスセンス」程度なら観れる。期待して映画館で観たけどたいしたことなかったな。GW中にはレンタルDVDを夜な夜な観たんです。「チャーリーとチョコレート工場」はとても面白かった。こらこら韓国映画じゃないよ。

チョン・ジヒョン ノム イエボヨ。ヨンファルル ホミョン ノド ペニテヨ。
 チョン・ジヒョンはすごくかわいいんだよ。映画を観たらあなたもファンになると言ってます” ^_^”

【おまけ】

チョン・ジヒョン最新作「デイジー」

どこかで自分を見守りながら、デイジーの花を贈り続けてくれる男性。名前も顔もわからないその人を、彼女は運命の恋の相手だと信じていた…

このストーリーから思い出すのは「紫のバラの人」！最近主演のふたりが来日。テレビで顔を見る事も多いんだけど、そういうときのチョン・ジヒョンはなぜかあんまりかわいくない。だいたいちょっと太ったみたいだ。スクリーンでは魅力全開なんだから、彼女こそ女優の中の女優ってことなのかもしれない。

